



支える

- 【地域医療】
 - 「益田の医療を守る市民の会」の活動支援・連携
- 【救急医療 ⇒ 病院勤務医】
 - 益田市休日応急診療事業（受付時間午前9時から12時30分）
患者実績：H21年度1,994名、H22年度1,407名、H23年度1,551名
 - ますだ健康ダイヤル24（健康医療電話相談24時間無料）
相談実績：H21年度2,064件、H22年度1,557件、H23年度1,928件、H24年度2,424件
- 【周産期医療】（周産期とは妊娠22週から生後満7日未満）
 - 周産期医療維持・継続等支援事業
10,000円×前年度の分娩件数を益田赤十字病院に助成
 - 産科医等確保（分娩手当）支援事業
分娩1件当たり10,000円を産科医に支給（市補助1/3）
- 【病院 ⇒ 地域医療】
 - ◎病院勤務医支援事業（新規事業）（12/18実施）
継続10年を迎える医師12名に感謝の気持ちを込めて感謝状と特産品功労品を贈呈
 - 【公的病院に対する財政支援】
 - 【医療関係者との意見交流（益田市地域医療連携会議）】
3病院（益田赤十字病院・医師会病院・松ヶ丘病院）2/8実施
 - 市広報への紹介
市内医師・研修医の紹介 現在5名紹介



←H24.7月号掲載
医師会病院 服部医師
H25.3月号掲載→
益田赤十字病院研修医



要望する

- 県知事要望 綺羅星会
- 国（政府・省庁）に対し、地方の医師不足を解消する要望活動
政府及び厚生労働省へ要望書を提出 4/26実施
- 大学・病院へ医師確保に向けて要望活動
- 益田地区広域市町村圏による医療体制確保



連携する

- 「益田の医療を守る市民の会」の活動支援・連携
- 益田市議会 地域医療対策特別委員会
- 益田赤十字病院「医療従事者確保対策委員会」の活動連携
- 益田圏域医療担当者会議

レインボープロジェクト

（七位一体：市民、行政、議会、企業、医療機関、メディア、教育）



【医師を益田市へ】

- ◎赴任医師歓迎事業（新規事業）（5/2-2実施）
赴任医師16名に市内観光施設利用チケットを贈呈
- 情報収集
市出身医師からの医療医師情報収集
- 大学医学部訪問 島根大(4/18、9/10訪問)
鳥取大・島根大(11/19訪問)
鳥取大(H25.2/19訪問)
島根大(H25.3/18訪問)
自治医科大(H25.3/19訪問)
- 大阪レジナビフェア（研修病院合同説明会）参加
H24.7/1：ブース訪問学生 33名
H23.7/3：ブース訪問学生 30名
H22.7/4：ブース訪問学生 15名



- 福岡レジナビフェア（研修病院合同説明会）参加
H25.3/3：ブース訪問学生 24名
H24.2/26：ブース訪問学生 41名
H23.2/13：ブース訪問学生 27名
←H25.3/3福岡会場にて

学ぶ

- 「地域医療を守り・育てる 住民活動全国シンポジウム」へ参加(12/8-9)
- 産婦人科医療受託研究者による勉強会実施(12/27)
- ◎「医療を守るための勉強会」益田赤十字病院のいま
主催：益田の医療を守る市民の会(H25.2/23)
- ◎「女性のための健康講座」実施（新規事業）
主催：島根産科婦人科学会、島大(H25.3/2)
- ◎「島根県立大学出雲キャンパスタウンミーティング」実施
～益田圏域における看護教育を考える～（新規事業）
主催：島根県立大学出雲キャンパス(H25.3/3)



【医療従事者】

- 医師研究・研修資金貸付制度
新たに市内の病院に赴任する臨床研修医師に対し、赴任初年次に研究研修資金を貸付、1人120万円、1年間の病院勤務により返還免除
貸付実績：平成21年度13名、平成22年度12名、平成23年度7名、平成24年度6名

【学生・生徒・児童】

- 島根大学医学部医学科地域枠推薦入学への市長推薦
島根県の地域医療に貢献したい強い意志を持った学生を市長推薦入学状況（5年生1人、4年生2人、3年生2人、2年生2人）
- 秦佐八郎（はた・さはちろう）博士顕彰医学生奨学金貸付制度
市内の地域医療を担う医師確保のため医学生へ奨学金貸与
月額5万円、市内の医療機関への勤務により返還免除
貸付状況（現在10人＝島大、山大）
- 石見高等看護学院地域枠推薦入学への市長推薦
卒業後市内で就業することを確約する学生を市長推薦入学状況H19以降27名（現在3年生7人、2年生7人、1年生5人）
市長推薦入学者卒業生8名全員が市内病院勤務



○医学生、看護学生との意見交流会

石見高等看護学院地域推薦入学生の意見交換 8/20実施
島根大学医学部入学者との意見交換 11/19実施
島根大学医学部・石見高等看護学院合格者の激励会 25.3/14実施

○中学生地域医療現場体験事業

H24.7.31 医師会病院にて
益田赤十字病院（8/28実施）19人、松ヶ丘病院（8/6実施）5人
益田地域医療センター医師会病院（7/31実施・8/21実施）14人



○石見高等看護学生と地域の子供とのふれあい活動事業

（11/1）吉田小・鎌手小・西益田小・豊川小・都茂小・匹見小で実施
187人の児童が参加

11/1 西益田小学校にて



○先輩から後輩へ伝え、学ぶ授業

市内外で活躍する現役医師が母校で授業
益田東中学校
10/2-3 実施



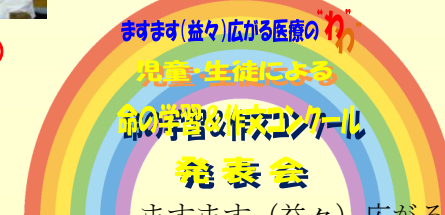
益田赤十字病院
研修医 中川優生医師

◎益田市民が支える医療連携事業（新規事業）
～ますます（益々）広がる医療の“わ”～
11/26実施

自治医科大学梶井教授による「命の授業」
5/17 匹見中・都茂小・東陽中にて



梶井教授からの子どもたちへのメッセージ



ますます（益々）広がる医療の“わ”宣言

